

日米投信概況

日本はNISAで過去最大の純流入！米国はビットコインやバンクローンに純流入、インド株から純流出!!

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部 松尾健治 (kenji-matsuo@am.mufg.jp) 窪田真美 (mamii-kubota@am.mufg.jp)

- 日本は公募投信(除くETF)がNISAで+8043億円と過去最大の純流入！p.1
● 米国はデジタル資産(ビットコイン等)やバンクローンに純流入、インド株から純流出!!p.3

●日本は公募投信(除くETF)がNISAで+8043億円と過去最大の純流入！

日本の投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2025年1月8日(水)までの1週間に+7412億円と4週連続の純流入

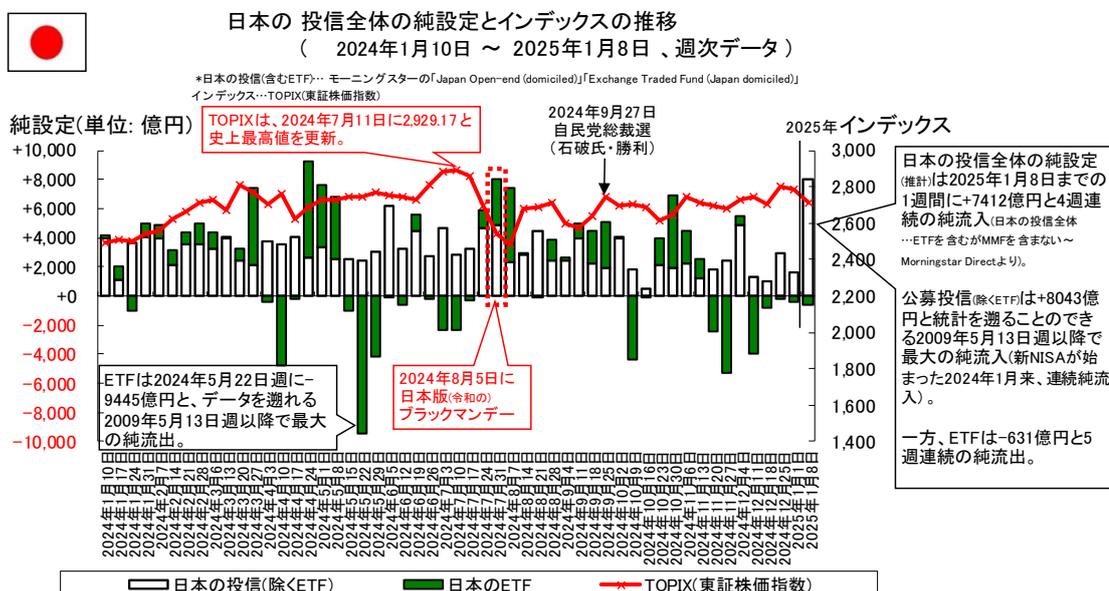
(日本の投信全体...ETFを含むがMMFを含まない~Morningstar Directより)。公募投信(除くETF)は+8043億円と2009年5月13日週からのデータで最大の純流入(新NISAが始まった2024年1月来、週次ベースで連続純流入)。日次で特に2025年1月8日は+4800億円と、1月8日週(実質3営業日の計+8043億円)の6割を占める純流入となった。一方、ETFは-631億円と5週連続の純流出。

2025年1月8日週の新NISA対象投信(除くETF)が+7664億円(←2025年1月1日週+977億円←2024年12月25日週+2156億円)の大きな純流入である事から、公募投信(除くETF)+8043億円は月初に多い積立買付に加え、新NISA2年目が始まり、新しい非課税投資枠での買付が行われた為と思われる(毎月第3営業日はクレジットカード決済による投信積み立ての資金流入が膨らみやすい...2025年1月9日付QUICK資産運用研究所「スリム

S&P500」と「オルカン」、1日で合計2900億円流入 昨年を上回る」~ https://moneyworld.jp/news/05.0015067 news/)o

NISAの買付額は毎年1(~3)月の買付が大きく、2021年以降は10~12月から翌年1(~3)月にかけて買付が増える傾向(1月効果)がある(毎年1月にその年の投資非課税枠が利用開始になり12月末に期限間近となり未使用分駆け込みが起こる事で、英国ISA/Individual Savings Accounts/個人貯蓄口座(株式型がNISAのモデル)と同様~2024年1月29日

付投信調査コラムNo.395「日本の1月効果と英国の4月効果の間にNISAとISA?~ファンドマネジャーやストラテジストが調査・分析をする世界のファンドフローと規制・制度~」~ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_240129.pdf、2015年3月2日付投信調査コラムNo.92「英国の4月効果、米国の1月効果、日本は何月効果?~英国のISAは今まさに「冬」で、来たるべき「春」、「NISAシーズン」へ向けて準備をしている所~」~ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/_icoFiles/afidfield/2015/06/11/150930.pdf)o

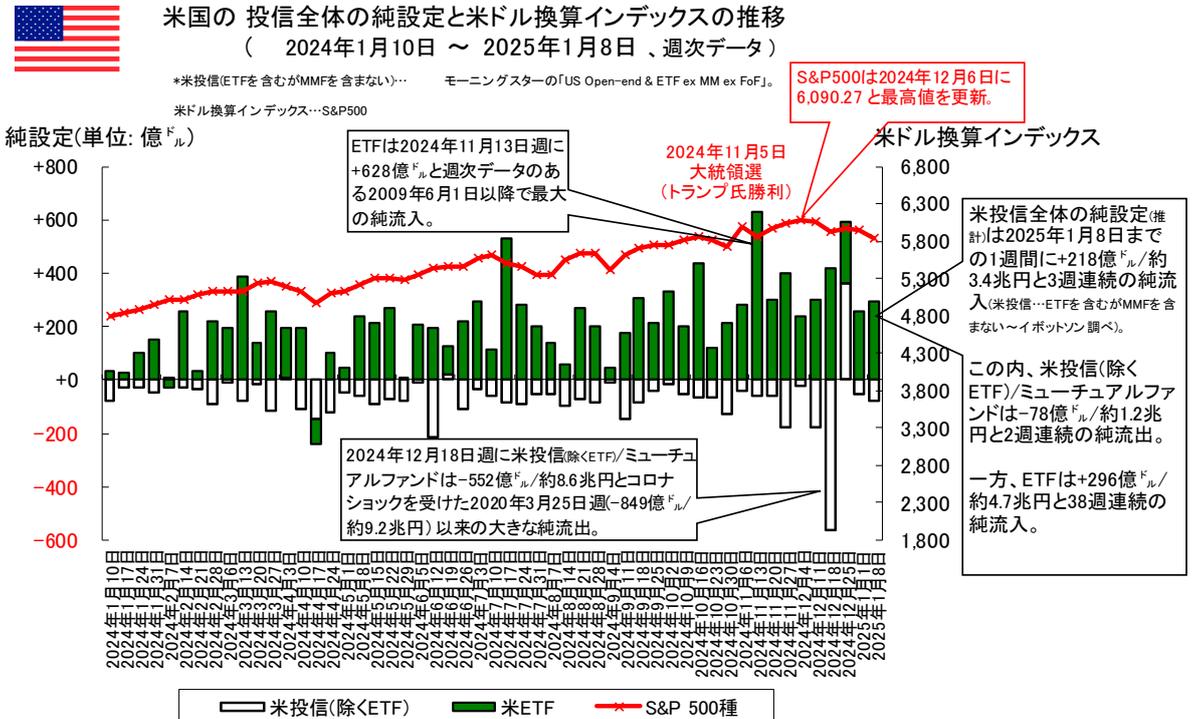


(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)
*2024年7月以前のデータは欠落があった為、米Morningstarに調査を申請中。今後変わる可能性がある。

●**米国はデジタル資産(ビットコイン等)やバンクローンに純流入、インド株から純流出!!**

米投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2025年1月8日までの1週間に+218億^{ドル}/約3.4兆円と3週連続の純流入
 (米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。 **米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-78億^{ドル}/約1.2兆円と2週連続の純流出。** 一方、**ETFは+296億^{ドル}/約4.7兆円と38週連続の純流入**(継続的なミューチュアルファンドの純流出とETFの純流入にはミューチュアルフ

ンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 その391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増！」～ https://www.am.ujfm.jp/report/imesupdate/colomn_31132.pdf)



(出所: Morningstar Direct 及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

*米モーニングスターが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点で入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。
 **2024年4月以前のデータは欠落があった為、米モーニングスターに調査を申請中。今後変わる可能性がある。

2025年1月8日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額を分類別に見る。 **米国株は+78億^{ドル}と3週連続純流入も鈍化傾向、セクター株は-4億^{ドル}と小幅ながら2週連続純流出、外国株は+1億^{ドル}と4週連続の純流入、債券は+115億^{ドル}と2週連続純流入、オルタナティブは+23億^{ドル}と3週ぶりの純流入、コモディティは-1500万^{ドル}と2週連続純流出。**

投資対象をより細かく分類別に見る。 **純流入1～3位は、米国大型ブレイド株(S&P500連動など)、米国超短期債、外国大型ブレイド株。 4位にデジタル資産(ビットコイン等)。**

米投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)

2025-01-08現在

*ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
1	Large Blend	+8,569	+9,714	+54,728	4,777,541	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
2	Ultrashort Bond	+4,452	+1,977	+9,674	352,470	米国超短期債
3	Foreign Large Blend	+2,259	+1,386	+11,238	1,002,118	外国大型ブレンド株
4	Digital Assets	+1,821	-256	+3,933	132,599	デジタル資産(ビットコイン等)
5	Derivative Income	+1,345	+915	+4,596	112,322	デリバティブ・インカム
6	Short-Term Bond	+1,163	+571	+1,646	345,155	米国短期債
7	Technology	+1,109	+204	+1,846	382,337	米国テクノロジー株
8	Mid-Cap Blend	+1,035	+293	+3,817	399,838	米国中型ブレンド株
9	Intermediate Core Bond	+1,026	+622	+3,492	725,531	米国中長期コア債
10	Bank Loan	+981	+189	+1,407	72,913	米国バンクローン
113	India Equity	-444	+1	-598	18,538	インド株
114	Real Estate	-574	-101	-480	91,803	米国REIT
115	Corporate Bond	-575	-1,418	-2,446	162,099	社債
116	Diversified Emerging Mkts	-588	-607	-970	533,179	グローバル・エマージング株
117	Moderate Allocation	-730	-232	-2,557	490,126	モデレート・アセットアロケーション(株50~70%)
118	Emerging Markets Bond	-754	-119	-2,120	55,726	グローバル・エマージング債米ドル建て
119	Equity Energy	-775	-179	-1,189	56,306	エネルギー株(非MLP)
120	Inflation-Protected Bond	-789	+158	-1,436	64,207	米国インフレ連動債
121	Mid-Cap Growth	-829	-379	-1,379	328,035	米国中型グロース株
122	Large Growth	-1,146	+6,748	+1,723	2,224,171	米国大型グロース株
123	Trading--Leveraged Equity	-1,767	+910	-134	112,610	トレーディングレバレッジ株式(ブル型)
	全123分類の合計	+21,810	+20,412	+87,262	20,579,215	
	指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
	TOPIX (東証株価指数)	-0.54	+2.00	+0.88		
	S&P500	+0.65	-2.60	-2.64		
	MSCI ワールド	+0.68	-1.84	-2.78		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

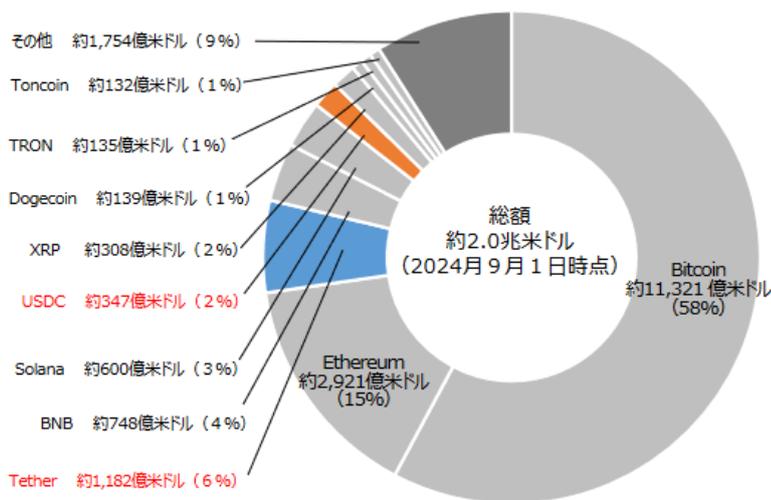
純流入4位の**デジタル資産(ビットコイン等)**は**+18億ドルの純流入と3週ぶり純流入**(2024年11月13日週+54億ドルが純流入過去最大)。デジタル資産(ビットコイン等)は2024年12月18日週まで14週連続純流入を記録、2024年12月25日週に-7億ドル、2025年1月1日週に-3億ドルと2週連続純流出、2025年1月8日週に+18億ドルの純流入となっている。ビットコイン価格は2024年12月15日までの1週間に7週連続上昇で(2021年以来最長)、2024年12月17日にかけて3日連続過去最高値更新したが、2024年12月18日の米FOMCで金融緩和ペース減速・インフレ抑制姿勢が示され大幅調整中である。

なお、**世界のETFにおける2024年の年間純流入額でブラックロック社のビットコイン現物ETF「iShares Bitcoin Trust ETF」(+375億ドル)が3番目に大きかった**(1位と2位がバンガードとブラックロックのS&P500ETF)。ビットコイン現物ETFは2024年1月に取引開始になったばかりだが、規制緩和を促進する意向を示すトランプ次期大統領の1月20日就任は、デジタル資産(ビットコイン等)に好材料となった(2024年11月11日付投信調査コラムNo.413「ビットコインETFの道〜トランプ氏は米国のビットコイン超大国にすると言ひ、日本の国民民主党・玉木氏は暗号資産

ETF導入を公約にし、日本の金融庁は暗号資産規制見直しに着手し〜 <https://www.am.fg.jp/report/investigate/column/241111.pdf>、2024年11月25日付投信調査コラムNo.414「SEC委員長退任で投信改革・私募ファンド・暗号規制は?」<https://www.am.fg.jp/report/investigate/column/241125.pdf>)

その中、ビットコイン現物ETFの「次」を期待する動きもある。「**昨年(2024年)11月下旬時点で、ヴァンエック、21シェアーズ、カナリー・キャピタルなどから、暗号資産の指数や『ソラナ』『リップル(XRP)』などのトークンに連動するETFの申請が少なくとも16件提出されている。カナリー・キャピタルはXRPとソラナに加え、あまり広く保有されていない『ライトコイン』と『ヘデラ(HBAR)』に関連する商品の申請も行っている。**」(強調下線は当コラム筆者、2025年1月10日付ライター「米暗号資産ETFに次の波か、次期政権発

足控え新商品申請の動き〜 <https://jp.reuters.com/markets/japan/funds/14f28f3c7b1a2405838384-2025-01-10/>)



(注1) ウェブサイトに掲載されている暗号資産・ステーブルコインのうち、2024年9月1日時点の時価総額1～100番までを集計。(11番～100番は「その他」に集約。)

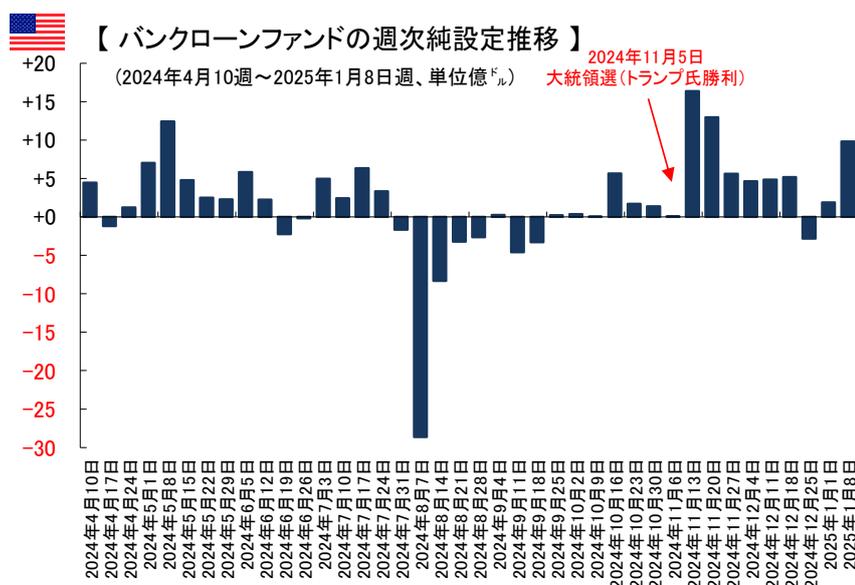
(注2) 赤字は「ステーブルコイン」。なお、「その他」にも「ステーブルコイン」が含まれる。「ステーブルコイン」の分類はウェブサイトの記載に基づく。

(出典) CoinMarketCap (2024年9月1日時点)

(出所: 2024年9月25日付金融庁「第1回金融審議会 資金決済制度等に関するワーキング・グループ」事務局説明資料p.13)

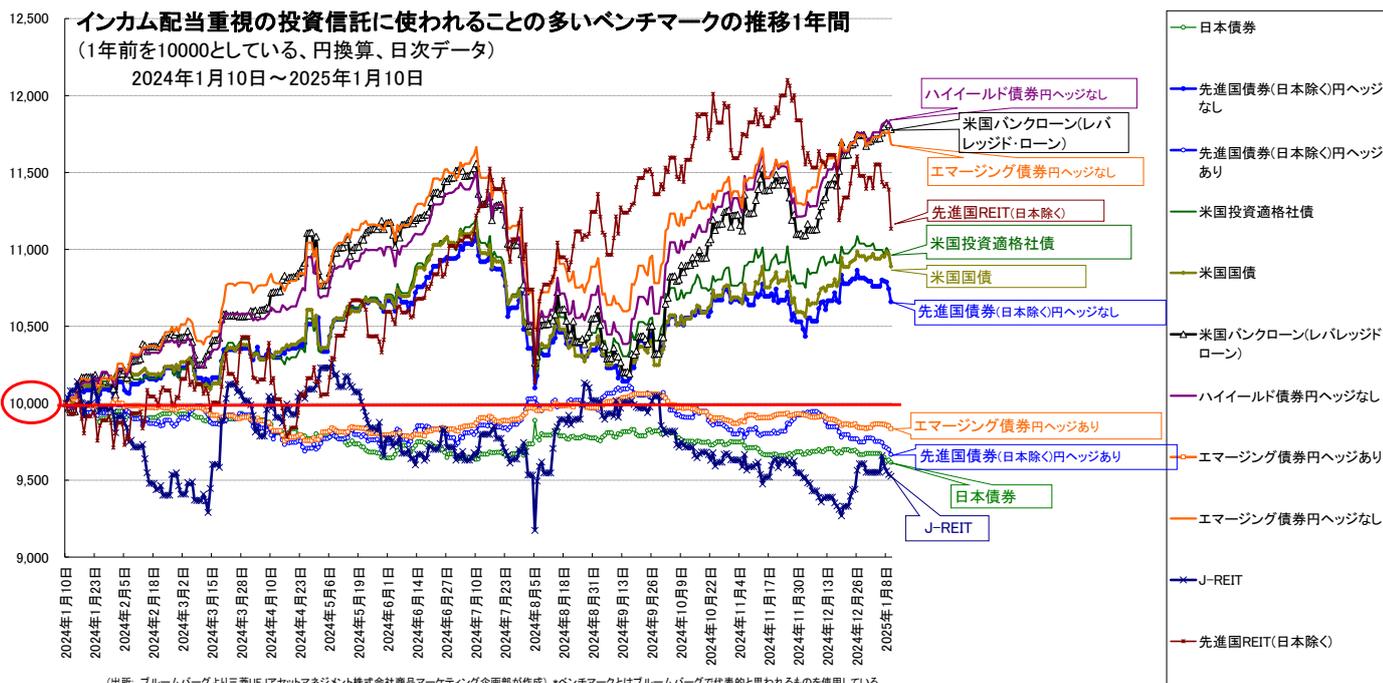
2025年1月8日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額分類別10位が**米国バンクローン**で**+9.8億^{ドル}/約1550億円**と**2024年11月20日週の+13億^{ドル}以来7週ぶりの大きな純流入**となった。米国バンクローンは良好なパフォーマンスを背景に、2024年11月にかけ3か月連続で設定が増加、12月の月間はまだ発表されていないが、週次推計ベースでは純流入が継続している。さらなる金利上昇や、1月20日トランプ氏次期大統領就任で期待されるファンド流動性規制緩和は、**米国バンクローンの好材料である**(2024年12月23日付投信調査レポートNo.430「インデックスファンドに勝るバンクローン&CLOアクティブファンド～変動金利の強みと米国ファン

ド流動性規制の緩和～」～ https://www.am.mof.go.jp/report/investigate/report_241223.pdf)。

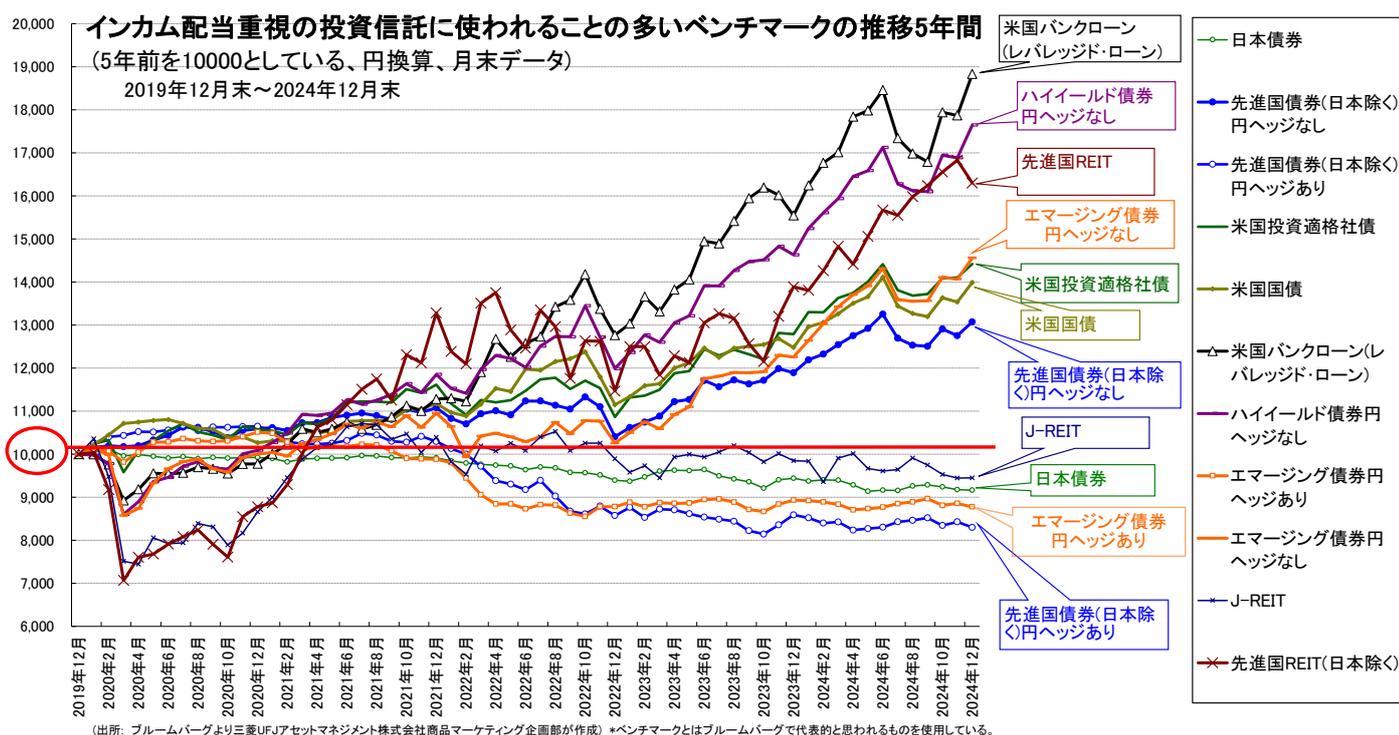


(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

インカム配当重視の投資信託に使われる事の多いベンチマークのパフォーマンスを見ると、2025年1月10日までの1年間に米国バンクローンは下記6つのベンチマーク中、ハイイールド債について2番目に良かった。



2024年末までの5年間では、米国バンクローン(レバレッジド・ローン)は下記6つのベンチマーク中、最も良好なパフォーマンス。



最後に2025年1月8日週の分類別純流入113位(純流出11位)の**インド株は-4.4億ドル**と2009年6月からの週次ベースで**最大の純流出**となっている(2024年12月9日付投信調査レポートNo.429「米国でビットコインETF人気が止まらない! 米国ではインド株ファンドが純流出だが、日本では世界レベルでも純流入回復」

https://www.am.mof.go.jp/report/investigate/report_241209.pdf)。インド株ファンドについては本日2025年1月14日付投信調査コラムNo.417「世界の積立投資(日本・米国・ドイツ・英国・中国・インドの積立投資の検証と情報)～日本で積立NISAが逆張り等の売りを緩和、ドイツでETF積立プラン急増、中国で個人年金にインデックスF、インドでSIP/積立投資制度増加～」(<https://www.am.mof.go.jp/report/investigate/>)も参考となる。

以上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部

松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、

窪田 真美(mami1-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指数について

■TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

■MSCI ワールド インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会